つながる医療

社会医療法人
大雄会
〒491-8551 愛知県一宮市桜一丁目9番9号
TEL 0586-72-1211
詳しくはWebへ だいゆうかい 検索
https://www.daiyukai.or.jp

閉塞性動脈硬化症について①

閉塞性動脈硬化症とは、主に足の血管に起こる動脈硬化です。初期の症状は足の痛みやしびれなどですが、重症化すると足の切断となることもある怖い病気です。また、この病気の認知度は心不全や心筋梗塞などと比べると低く、足の症状を年齢や体力低下による影響と思われている方も多いため注意が必要です。今回は閉塞性動脈硬化症について総合大雄会病院循環器内科の谷信彦医師が解説します。

第一回　閉塞性動脈硬化症の概要と症状について

●閉塞性動脈硬化症とはどんな病気ですか？

足の血管の動脈硬化が進行することで血流が低下する病気のことです。初期症状は足の痛みやしびれなどですが、進行すると安静時にも痛みがあり、切り傷などができた際に治らず壊死することもあります。主に50～60歳以降の中高年に多く発症しますが、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、喫煙など、動脈硬化の危険因子を持つ人に発生することが多いと言われています。また、この病気を持つ人は他の動脈硬化性疾患（狭心症や脳梗塞）を合併していることも多いとされています。

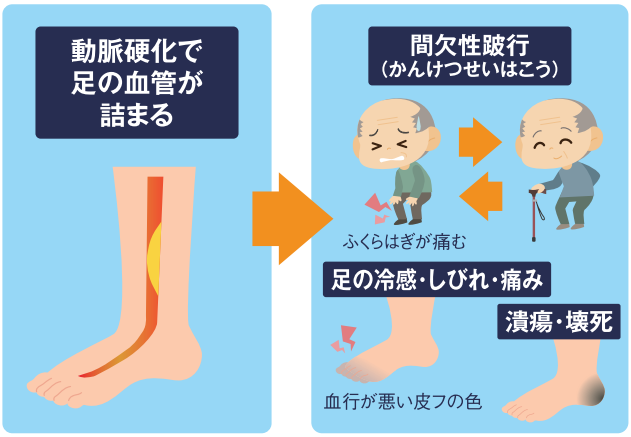
●どんな症状が出ますか？

初期の症状としては歩いた際にふくらはぎや太ももに痛みが出てきます。だるさや痛み、冷たさなどが典型的な症状で、しばらく安静にすると症状は改善します。〔この症状を間欠性跛行（はこう）と言います。〕進行すると、安静時にも症状が現れることがあります。「夜、足が痛くて眠れない、足を降ろしておかないと痛い」などの症状です。さらに進行すると足が壊死してしまい、切断が必要となることがあります。症状については徐々に悪くなる場合が多いですが、急激に出現することもあります。

次回は閉塞性動脈硬化症の検査・診断について解説します。ご期待ください。

監修
循環器内科診療副部長 兼
救命救急センター内科部門診療部長
谷 信彦（たに のぶひこ） 医師
〈主な資格〉
・日本内科学会 総合内科専門医
・日本循環器学会 循環器専門医

閉塞性動脈硬化症とは…



社会医療法人大雄会は
2024年に100周年を迎えます
続く挑戦、未来をつむぐ。100th Daiyukai since 1924

未経験のかたも歓迎
看護補助者ほか
各職種の非常勤スタッフ 募集中!!
詳細は「大雄会 採用」で検索ください
☎ 0586-24-8891（受付時間）平日8:30～17:30